

令和7年7月

魚津市定例記者会見



日時：令和7年7月1日(火) 午後1時30分～午後2時

場所：市役所 第4・5会議室

報道出席者：北日本新聞社、北陸中日新聞、富山新聞社、読売新聞、NICE TV、
ラジオミュー

市当局出席者：市長、情報広報課長

1 市長からの発表事項

(1) 台湾新北市政府教育局と魚津市教育委員会とのMOU（基本合意書）締結について（教育総務課）

台湾新北市政府教育局と魚津市教育委員会とのMOU（基本合意書）締結について
日程が決まりましたのでご案内します。

ア 日 時 令和7年7月14日（月）10時～12時（現地時間予定）

イ 会 場 新北市政府教育局（板橋区中山路1段161号）

ウ 出席者 台湾新北市政府教育局局長 張 明文 氏

魚津市教育委員会教育長 山瀬 敬

エ 内 容（協力分野）

- ・双方の学校間の教育交流等を支援し、促進するよう努める。
- ・双方の教師と学生が、文化、教育、芸術、スポーツなどの分野で様々な相互交流を行う。

オ その他 現地写真等を希望される場合は、担当課までお問い合わせ下さい。

(2) 「魚津国際ジュニアピアノフェスティバル」の開催について（生涯学習・スポーツ課）

魚津国際ジュニアピアノフェスティバルの開催のご案内になります。

国際ジュニアピアノフェスティバル自体は、昨年続く第2回目の開催です。

内容は、世界的に若手育成で有名なロト・中谷三代子先生がアメリカの夏休みを利用して、小中学生を率いて日本においでになり、合宿形式のセミナー及びコンサートなどを行います。

主な行事は、オープニングのコンサートから始まり、ゲストピアニストによるリサイタル、小学校などへのアウトリーチのコンサート、そしてファイナルコンサートとなるわけですが、中ほどの7月7日（月）に、フロリダ国際ヤングアーティストピアノコンペティションとして、今年度はアジア決勝大会も兼ねて開催します。

開催期間 7月5日（土）から7月14日（月）まで ※詳細は資料のとおり。

（３） 企画展「博覧会のパビリオンだった!?魚津埋没林博物館の70+1年展」について（埋没林博物館）

埋没林博物館の企画展のご案内になります。

昭和29年（1954）に富山産業大博覧会が開かれた際に、魚津市にも会場が設置され、パビリオンの1つとして、埋没林博物館が公開されました。翌年の昭和30年に登録博物館ということになり、70年が経過したのを記念し、大博覧会開催時のパンフレットや記念グッズなどを展示し、大博覧会の様子や、博物館として70年の歴史を紹介します。

併せて、平成17（2005）年に魚津埋没林博物館50周年記念として募集した「20年後の自分や家族等へ向けたメッセージ」約400通などを封入したタイムカプセルを開きます。タイムカプセル自身は土の中には埋めずに博物館の資料室に保管されておりました。資料の右の写真にありますように、2025年へのメッセージと書かれた木箱の中に、選挙の時の投票箱みたいなスチールの箱がタイムカプセルとして入っております。

ア 企画展 「博覧会のパビリオンだった!?魚津埋没林博物館の70+1年展」

（ア） 会 期 令和7年7月18日（金）～10月31日（金）

（イ） 会 場 魚津埋没林博物館 テーマ館（要入館料）

イ 関連行事 「2005年からのメッセージ」タイムカプセルオープン

（ア） 日 時 令和7年7月19日（土）10:00～

（イ） 会 場 魚津埋没林博物館

（４） 台湾「2025新北市板橋区サマーカーニバル」における観光物産PRについて（商工観光課）

台湾新北市板橋区での観光物産PRについてのご案内になります。

冒頭に新北市政府教育局と魚津市教育委員会とのMOUの締結が、7月14日（月）に行われると話しましたが、その前の7月12日及び13日の両日開催されるサマーカーニバルに本市も出展するというものです。本市の他にも、熊本県、秋田県、香川県及び和歌山など、板橋区と交流のある日本の自治体が複数一緒に出展する予定です。 ※以下資料に基づき説明。

(5) 「第56回じゃんとかい魚津まつり」の開催について（商工観光課）

第56回じゃんとかいおづ祭りの開催のご案内になります。

今年度のじゃんとかいおづ祭りのラインナップは、昨年度とほぼ同様ですが、1点、8月2日のイベント、U0!JAZZの開催前に、15時からU0!JAZZ Opening ACTという、昨年までにはなかった新しいイベントが加わっております。 ※以下資料に基づき説明。

(6) 関係人口創出・拡大事業「博物館ワーケーション2025」の実施について（地域協働課）

関係人口創出・拡大事業、博物館ワーケーション2025の開催のご案内になります。

子供の関係人口創出ということと、第2のふるさとづくりということを目的として取組を行っております。昨年度に続きまして、博物館ワーケーションを実施いたします。 ※以下資料に基づき説明。

(7) 「魚津まつり応援団」の活動について（地域協働課）

魚津まつり応援団の募集のご案内になります。

既に募集を始めておりますが、さらに重ねてのご案内になります。申し込み期限が7月13日（日）、再来週末までになりますので、奮ってご応募いただきたいというものであります。

ご応募いただきまして、地域活動貢献活動に従事いただいた方には、魚津市の電子地域通貨ミラペイを支給しております。例えば、スケジュールの最初の山の組み立てから参加をされて、キャンドルロード、それから祭り2日間、本番、そして解体までフルにご参加をいただくと、ミラペイを1万円お渡しします。祭り2日間の参加のみの場合は8千円の支給となります。参加のバリエーションによってミラペイの付与額が変わりますが、詳しくは、ポータルサイトを見ていただきますと内容がわかるようになっております。 ※詳細は資料のとおり。

(8) 「魚津^{まるまる}∞めぐり」参加者募集について（情報広報課）

ガイドつき公共施設ツアー魚津∞めぐりの参加者の募集であります。

昨年は、市政バス事業として実施をしております、2コース2日間に分けて実施しておりました。 ※以下資料に基づき説明。

(9) 「水族館を核としたまちづくりシンポジウム」の開催について（企画政策課）

「水族館を核としたまちづくりシンポジウム」の開催のご案内になります。

今年の3月に公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンターの主催で、「水族館を核としたまちづくり」というテーマで、「第27回まちづくり・都市デザイン競技」が行われました。テーマは本市から提案したものです。コンペ（審査会）の結果等につきまして、審査委員長であります、西村先生（國學院大學教授・東京大学名誉教授）にご講演をいただくとともに、受賞者の皆さんから作品のコンセプトなどについて語っていただくという内容であります。開催日は7月12日（土）13時から開催します。

パネルディスカッションのパネリストについては、先ほどの「まちづくり・都市デザイン競技」において、各建設会社の若手建築課がチームを組んで、作品を応募された中から、審査会で選ばれたチームが所属している会社に、このシンポジウムのパネリストとしてご参加いただくものです。作品としては、石河氏と田代氏、こちらは個人の方ですが、お2人で1つのチーム、大成建設（株）、清水建設（株）、（株）福見設計、戸田建設（株）の4社、全部で5つのチームが受賞作品について発表されます。

当日、開催挨拶の後に、魚津市長特別賞授賞式で戸田建設（株）のチームの方に魚津市長賞をお渡しします。それ以外のチームの方は、既に国土交通大臣賞や各賞を受賞済みです。会場は、新川文化ホールの小ホールです。市といたしましては、シンポジウムを通じまして、この作品、その中で、今後の水族館ですとか、ミラージュランド、米蔵、埋没林博物館など、魚津の海岸地区に点在をしております地域資源を生かしたまちづくりを考えていく上での参考にしたいと考えております。

2 質疑応答の内容

○「水族館を核としたまちづくりシンポジウム」の開催について

《記者からの質問》

「まちづくり・都市デザイン競技」について、審査時期と主催者についてお聞きします。

《市長回答》

審査会自体は今年の3月に東京でありました。私も審査員の1人として参加をさせていただきました。

主催は、「公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター」という団体になります。こちらの公益財団法人が全国からテーマを募りまして、魚津市は、水族館を核としたまちづくりと、いうテーマで応募したわけです。それを採用していただいて、競技として建築関係の方々に案内をされたという経緯になります。

○高岡市長選の結果の受け止めについて

《記者からの質問》

高岡市長選の結果の受け止めについてお聞きしたい。

《市長回答》

高岡市民の皆さんの民意が反映された結果だというふうに受け止めています。